

令和3年度新エネルギー産業（電池関連）創出事業補助金
「第四次産業革命に関連する先端技術等の実証実験」編 事業計画書

大阪府知事 様

所在地
名称
代表者名

標記について、以下のとおり関係書類を添えて提出します。

1 実施体制

企業の概要	名称	株式会社 ○○		
	所在地	〒000-0000 大阪府○○市○○		
	担当者役職・氏名	○○部 部長 ○○ ○○		
	ホームページ	https://www.		
	電話／FAX	00-0000-0000／00-0000-0000	E-mail	0000@0000.com
	資本金	円	従業員数	人
	分類	中小企業	○	その他企業
	事業内容 (2行程度)			

2 計画概要

(1) 事業名称	○○を活用した○○システムの運用に向けた実証					
(2) 事業実施場所	大阪府○○市○○地区					
(3) 事業実施期間	交付決定日から令和4年3月31日まで					
(4) 実証の分野 (複数選択可)	AI	○	IoT	ビッグデータ	○	ロボット テクノロジー
	ブロック チェーン		5G	その他		
(5) 実証実験の概要	(4行程度) 補助事業に採択された場合、この欄の記載内容を基に、計画概要を府のホームページで公表しますので、事業の内容と目標を簡潔に分かりやすく記載してください。 ○○分野においては、近年○○が増えており、対応人員の確保やコストの面で大きな課題となっている。本事業では、原因となる○○の解消のために開発した、AIを活用し○○を予測する○○システムを○○地区において実験的に運用し、所要時間の短縮や必要人員の圧縮等の効果を検証する。					
(6) 実証実験の内容と目標等	① 実証を行う商品・サービスの開発の背景 (10行程度) 技術的・社会的背景、トレンド、ユーザーのニーズなどを記載してください。 近年、○○やコロナウイルスの感染拡大などを受けた人々の生活スタイルの変化を					

背景に、〇〇分野への需要は拡大している。
一方、〇〇サービスの提供には〇〇するための人員が必要であり、需要の拡大とともに人員の確保と〇〇という課題が大きくなりつつある。
こうしたことから、弊社では〇年より、AIを活用した〇〇システムの開発に取り組んできた。これは〇〇のデータをもとに〇〇を予測することにより、〇〇の解消をめざすものである。社内での実験においては〇〇率が〇〇%減少するなど一定の効果が確認できたため、今回、事業化に向け実際の〇〇場面における〇〇を検証する。

② 実証実験を行うことが必要な理由

技術的な課題の存在、事業効果の検証など、製品・サービスの事業化にあたり実証実験が必要な理由を具体的に記載してください。

1. 実地における運用上の課題の把握

〇〇システムの運用にあたっては、〇〇データから即時に〇〇を計算し、〇〇する必要がある。社内環境での実験においては存在しなかった〇〇などの条件が、こうしたデータのやり取りにどのような影響を与えるか確認が必要である。

2. 事業効果の検証

〇〇システムの運用により、実際に所要時間の短縮や必要人員の圧縮が目標量以上可能であるかどうか確認が必要である。

③ 今回の実証実験の内容と目標

※①②を踏まえた実証実験の内容と目標について、図表、写真等を用いて分かりやすく記載してください。数値目標がある場合には必ず記載してください。

当計画書は、審査会でのプレゼンテーションの基となる資料となります。審査委員はプレゼンテーション審査に臨むにあたり、当計画書に記載の内容を事前に読み込み、評価ポイントや質問項目を整理したうえでヒアリング及び質問を行います。

プレゼンテーションでは短時間で簡潔な説明を求めますので、効率的かつ精度の高い審査ができるよう、内容と目標について、具体的に分かりやすく記載してください。

2か月の間、大阪府〇〇市〇〇地区において〇〇システムを運用し、課題と効果を把握する。

実施にあたっては、〇〇株式会社に〇〇システムを提供し、〇〇業務において試験的に活用してもらう。〇〇株式会社は当システムにより〇〇地区の〇〇を把握し、〇〇する。弊社は〇〇システムの稼働に責任を持つとともに、システムから得られる〇〇データを分析する。

(図：システムの概要)

現在、〇〇にかかる〇〇割合は約〇割であり、従業員の労働時間のうち平均〇〇時間がその対応に充てられている。〇〇システムを活用した〇〇により、〇〇割合を〇割に低減させ、これにより従業員1日あたりの対応時間を〇〇時間に圧縮させることが目標である。

(表：〇〇にかかる現状の実績と目標値)

	<p>④ 実証実験を行うフィールド</p> <p>※大阪府内のフィールド（公園、道路、施設等）について必ず記載してください。その際、【確保済み】、【確保予定】、【未定】の別が分かるように記載をお願いします。また、【確保予定】、【未定】の場合は、いつまでに・どうやって確保するのか、見通しを記載してください。</p> <p>大阪府〇〇市〇〇地区において実証を行う。【確保予定】</p> <p>〇〇地区は、前身である〇〇のシステムを開発する際に協力を得た地区の一つであり、本実証事業の実施に対しても好意的な感触を得ている。また、〇〇という特色があり、〇〇の影響を検証するのに適していると判断した。事業開始後1か月以内を目途に、〇〇の場で地区の正式な合意を得て、現地での実験を開始する。</p>
<p>(7) 事業化可能性</p>	<p>事業化可能性に関し、ユーザーや取引先等のニーズ、先進性、採算性（価格、売上）、市場規模や競合する企業・サービスの分析など事業化に向けた具体的な見通しを記載してください。</p> <p>客観的なデータ、市場調査等や自社の販売計画等を用いて具体的な見通しを記載してください。</p> <p>〇〇などの社会情勢から、今後も〇〇分野に対する需要の増加傾向は続き、市場規模は現在の〇〇円から〇年には〇〇円規模に拡大すると予測されている。それに伴い〇〇の増大が見込まれ、課題となっている。（出典：〇〇）</p> <p>〇〇業界においては、〇〇の解消を喫緊の経営課題と捉え、例えば〇〇といった対策を講じている企業もある。しかしながら〇〇を現場社員の判断に頼るなど、〇〇という課題があり、〇〇の自動化に対するニーズは高い。</p> <p>弊社の〇〇システムについては、社内環境で一定の効果が確認できていることから現在特許の取得を進めており、〇〇頃完了する見込みである。</p> <p>本事業において実地での有用性が実証できれば、年間〇〇円程度での販売を見込んでいる。</p>
<p>(8) 実証実験の実施体制と役割分担</p>	<p>目標達成までの取組みについて、応募者、共同実施者、委託先、試験研究機関等の各主体の具体的な実施内容及び関わりについて記載してください。</p> <p>適宜、図式などを活用して、それぞれの実施主体の役割や関係性などが分かるよう、記載してください。</p> <p>〇〇株式会社及び〇〇の分析を専門とする〇〇大学の〇〇教授の協力を得て、次の役割分担で事業実施する。</p> <p>（図：弊社と〇〇株式会社、〇〇教授の役割分担）</p>

(9) スケジュール	開始から終了までの取組みスケジュールを記載してください。取組み項目と実施主体について簡潔に記載してください。							
	月 項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	フィールド調整（弊社）	⇒	⇒					
	〇〇システムの提供準備（弊社）		⇒					
	〇〇地区での実証実験（弊社、〇〇株）			⇒	⇒	⇒		
	実証結果の分析（弊社、〇〇教授）						⇒	⇒

3 経費配分案

(1) 経費配分案

(単位：円)

経費区分	細目	補助事業に要する経費	補助事業申請額	備考
実証実験費	事業費		/	
	機器レンタル料	200,000		
	設置工事費	300,000		
	委託費			
	安全対策費	200,000		
	運搬費	80,000		
	事務費			
	モニター謝礼費	100,000		
	学識経験者謝礼費	80,000		
	旅費	100,000		
	会場使用料	40,000		
	合計	1,100,000		

(2) 補助金以外の経費負担（補助事業の経費のうち補助金で賄われる部分以外に関する経費）

負 担 者	株式会社 ○○	負担方法	自己資金による
負 担 額	補助事業に要する経費－補助事業申請額＝負担額 600,000		

4 他の補助金等の申請状況について

同一事業で、国や地方公共団体、独立行政法人等の公的な補助金・助成金等について申請中又は申請予定の場合は、その名称等を記載してください。

〔これらの補助金・助成金等を受けている場合、又は受けることが決まっている場合は、応募することはできません。〕

公的な補助金・助成金等の名称等	○○○助成金（募集機関：○○）		
申請（予定）日	○○年 ○月 ○日	交付決定予定日	○○年 ○月 ○日